

透明性とアメリカの原子力規制

Peter A. Bradford
Adjunct Professor, Vermont Law School
Japan Atomic Energy Commission
September 18, 2012

透明性は、原子力の安全性の 不可欠な要素

- 公益団体と州政府は、アメリカ規制当局による安全性に関する決定の不備を指摘

例えば:

- 2003年の使用済み燃料プールの安全性に関する訴え
- 緊急時原子炉冷却システムに関する聴聞会
- 透明性は、信頼を築くだけでなく、安全性を向上するうえで特に重要な役割を果たしている。

米NRCの透明性とは「窓越しに見る」 という以上の意味と見るべき

- 情報公開は効果的な透明性の維持に不可欠だが、十分ではない。
 - 米NRC委員時代でも、そのほかの規制機関においても、公衆は主な手続に参加するために情報公開を求める権利を行使することができると、法は求めていた

アメリカの実践での意味ある透明性 確保のための要素

- 記録の保存と文書へのアクセス権
- 継続中の手続についての公示
- 会合で考える機会
- 意見を提出する機会
- 追加情報を求める機会
- 参考人を厳しく追及する権利
- 書面化された決定を受け取る権利
- 不服を申立てる権利

透明性に関する課題

- 安全性に関する機微な情報
 - この利害の衝突は、原子力の信用に関する避けられない部分と思われる。防護に関する命令を通じて透明性の要求は緩和されるが、除外はされない
- 手続の効率性
 - この利害の衝突は、手続が予定通りに順調に進められている場合、現実以上に明白に表れる
- 公務員が非公式に会うようになる
 - このような方法をとるが、思われているより重大な問題ではない

NRCの透明性を向上するための 考えられる方法

- スリーマイル島原発事故を検証した大多数の者が、NRCは手続をより効果的に行うために公認した認定者（NGOなど）の支援を行うことを推奨した
 - 公的機関の法律顧問事務所、または
 - 専門家と適任の弁護士を雇う財政支援
- これは、NRCにおいては実現していないが、いくつかの州政府では取り入れられている